

## 課題名：患者背景を考慮した原発性肝細胞癌の画像所見の検討

### 本研究の目的

原発性肝細胞癌の画像所見はすでに確立されており、典型的な画像所見を呈する場合は病理学的裏付けなく原発性肝細胞癌と診断し、治療にふみきることができます。しかしながら、これまで原発性肝細胞癌の最大の原因であった肝炎ウイルス感染に対する治療が進歩し、近年では原発性肝細胞癌の多くが肝炎ウイルス感染患者さんではなく、あらたな肝障害として注目されている非アルコール性脂肪肝炎患者さんに多く発生するようになりました。この背景の変化に伴い、原発性肝細胞癌の画像所見も変化している可能性があります。詳細はまだ明らかとなっていません。本研究の目的は、患者さんの肝障害の背景のちがいに着目した上で原発性肝細胞癌の画像所見を検討するものであり、これによって肝障害の背景のちがいに応じた原発性肝細胞癌の画像診断に寄与できると考えています。この研究は呉医療センター中国がんセンター、広島赤十字原爆病院との共同研究で、これらの施設から情報提供を受けています。

### 本研究の対象

2009年1月から2018年3月の間で、広島大学病院にて原発性肝細胞癌に対して外科的切除術が施行された患者さん。

### 本研究の期間

承認後～2021年3月31日

### 本研究の意義

患者背景のちがいにより原発性肝細胞癌の画像所見が異なることが明らかとなれば、今後の原発性肝細胞癌の診断が大きく変わることになるため、本研究は非常に重要であると考えます。

### 研究の方法

本研究ではすでに行われている画像所見や血液検査などのデータを解析します。カルテを調べて調査することが主な調査方法です。調査項目は、患者さんの性別、年齢、身長、体重、採血データ、画像所見(CT、MRI、PET-CT、RIなど)、病理所見、臨床情報(既往歴、現病歴、合併症など)です。

共同研究機関以下の機関を共同で研究します。(広島大学に情報を集め、解析します。)

- 呉医療センター中国がんセンター
- 広島赤十字・原爆病院

## 試料・情報の管理責任者

広島大学病院 放射線診断科 栗井 和夫

## 個人情報保護の方法

- (1) 対象患者さんのカルテ, 画像に記載された個人情報はすべて匿名化した上で研究に使用しません。
- (2) 学会誌や学会での発表等, 調査結果を公表する際, 個人情報は一切公表しません。
- (3) この研究で収集したすべての情報は, この研究の目的以外では使用いたしません。
- (4) データは外部と独立したコンピューターで管理し, パスワードによるログイン機能の付加, コンピューターをセキュリティーの厳重な部屋に保管します。
- (5) 収集した患者さんのデータは, 研究公表後データはすべてコンピューター上から削除, 書類はシュレッダー等で処理した上で廃棄します。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療などに不利益が生ずることはありません。

問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先

広島大学病院 放射線診断科

研究責任者:教授 栗井和夫

研究担当者:准教授 中村優子

研究担当者:医科診療医 赤木元紀

研究担当者:医科診療医 成田圭吾

連絡先電話番号:082-257-5257